



# 「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町26-9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場・Fax 兼用 0187-68-2381)

URL：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

\*農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

## 農場長(高橋寿徳先生)より

「農業高校生として」

恒例の早苗振りもたくさんのご来賓、父兄そして地域の皆様の方にご来校いただき盛大に行われ大成功に終わりました。大農生の企画・運営力は素晴らしいと思います。

さて、これからが大農生の腕の見せどころです。定植した作物の管理が秋の収穫を左右します。今年は、学校農場のほか、複数の保育園、小学校、中学校に本校生徒が足を運び、子どもたちのお手伝いをしてきました。植え付けだけでなく、自然環境に対応した管理が必要だと思えます。

農業高校生の3大目標の、「社会性」「指導性」「科学性」が試される時です。農業高校生として自覚と責任感をもって臨みたいものです。

## 水田部門

(担当者：藤井亨先生、高橋寿徳先生、佐々木尚人先生、黒田一久先生)

皆様のご協力も頂きながら、田植えが終了しました。ありがとうございました。5月27日に行われた1年生の手植え実習も東大曲小学校の児童の皆さんと一緒に、丁寧に植えられたので良かったです。また、暑い中準備や補助を行ってくれた3年生の作物・畜産専攻の生徒に感謝です。

現在は、イネの生育ステージに応じた水管理を行いつつ、雑草との格闘が始まっています。



初めての草刈り実習



丁寧な育苗箱洗い

## 果樹部門

(担当者：佐々木孝之先生、佐藤農先生)

写真はモモ(日川白鳳)です。梅雨とはいえ、雨が本格的でないのですが、順調に育っています。早生品種ですので、7月下旬には収穫予定です。



## 大家畜部門

(担当者：佐々木惇先生、佐藤晴輝先生)

6月9日、まさみに鼻環(びかん)を着けました。かなり痛いらしい。



## 小家畜部門 (担当者：田口健一先生、佐藤晴輝先生)

徐々に気温が高くなってきましたが、ニワトリたちは元気に卵を産んでくれています。本校の卵は、LLサイズ1パック240円、Lサイズ1パック220円、Mサイズ1パック200円で販売しています。1パックは10個入りです。その他に、Mサイズ以下の卵を1袋15個入り200円で販売しています。農業科学館の販売所または、花火通りを中心に販売実習にて販売しております。不定期ではありますが、機会があればご購入ください。よろしくお願ひします。

## 中家畜部門 (担当者：守屋拓先生、小林和成先生)

PEDがなかなか終息しませんが、被害大きい哺乳豚はいなくなりましたので実習を再開します。豚舎に出入りする際は、踏み込み消毒をしてください。ご協力お願いします。

6月12日に早苗振り用の豚を出荷しました。当日は豚汁として戻ってきますので沢山お召し上がりください。



## 食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人先生、三嶋登忍先生)

早苗振(さなぶり)の「豚汁」を作りました

6月18日(水)に行われた第61回大曲農業高等学校「早苗振」の豚汁を1年B組「家庭総合」と系選択「食品化学」専攻、系選択「食品製造」専攻と食品加工部員で準備しました。6月16日(月)と17日(火)の2日間でごぼう、だいこん、ジャガイモ、ニンジン、キャベツ、長ネギ、たまねぎ、高野豆腐、コンニャクを調理しました。放課後食品加工部員が豚肉、味噌を準備しました。大曲農業高等学校の豚汁に何種類の食材があるか分かりましたか?以前はジャガイモではなく、この時期に価格の高価なサツマイモを食材としていました。本年度は2社のテレビ局と新聞社4社の取材があり、美味しそうに豚汁を食べる様子が放映、掲載されました。調理方法を指導してくれた生活科学科の先生方がありがとうございました。豚を育て肉を提供していただきました畜産部門の方々ありがとうございました。味噌の麴用米を提供していただきました水田部門の方々ありがとうございました。伝統の「豚汁」は多くの方々の協力で継承されています。



(大釜6個で調理されます)



(たくさんの食材で美味しい豚汁になります)

## 野菜 部門 (担当者：古戸毅先生、小松万里子先生、富樫久雄先生)

野菜圃場では現在、エダマメ、トウモロコシ、カボチャ、トマト、キャベツなどが栽培されています。写真は左からトウモロコシ(品種はゴールドラッシュ)、カボチャ(雪化粧)エダマメ(グリーン75)、ミニトマト(イエローアイコ)です。育苗用ファイロンハウスが解体され、電熱線等による加温設備のない新ビニールハウスで富樫先生が英知を駆使してこれらの苗を育て上げてくれました。これからナス苗などの定植をします。収穫したら皆さん是非味わってください。先生と生徒の切なる思いが凝縮されているはずです!



## 花卉 部門 (担当者：和泉有紗先生、山代和也先生)

花卉部門で育てた花壇苗をグリーンライフの授業(2年選択B)で駐車場横の花壇に定植しました。マリーゴールド、ペゴニア、ニチニチソウ、サルビアの花々が校舎前を彩ってくれています。生徒たちは自分たちで考えたデザインに基づき、一所懸命作業してくれました。苗の配置にとっても苦戦した様子でしたが、力を合わせて花壇を完成させることができました。ご来校の際は、ぜひご注目ください。



## 生物工学 部門 (照井豊和先生、平塚祥広先生、大沼克彦先生、佐藤潤之介先生)

生物工学部門では、6月26日から27日に開催される農業クラブのプロジェクト発表に向けて、準備をしています。今年は環境分野で、田沢湖の環境改善に向けたこれまでの取り組みについて発表します。これまでご協力いただいた地域の方々で行ってきた活動成果を十分に伝えてきます。

写真は、プロジェクト発表に向けた打ち合わせを生徒がしているところです。熱く議論しているところが伝わります。結果をご期待ください。



## 林業 部門 (担当者：照内之尋先生、三浦薫先生、守屋拓先生)

本校ではシイタケのほだ木栽培を行っています。種駒接種法は一定の大きさの原木に、ドリルで穴をあけ、棒形の木材(菌糸がまん延している木材)の種駒を埋め込む方法です。

今年度は伏せ込みの場所を格技場の裏にしております。

